ともに

Dear our partners,
Dear our friends.

【校訓】
やさしく
かしこく
すこやかに

平成２７年６月５日
第１０号

天草市立久玉小学校
学校通信
編集代表
校長　本田勝則

人権週間

今週は一学期の人権週間です。人権に関する学習をしたり、集会で話を聞いたり、代表委員会を中心に人権宣言を決めてみんなでがんばったりします。

六月一日（月）は人権集会がありました。プログラムは三つ。①本田校長先生の話②人権宣言の発表③担当の外濱先生の話です。

校長先生のお話は校長コラム「大団円」にありますので、省略します。

担当の外濱先生からはこんな話がありました。

「人権週間は自分の行動をふり返る週間です」そのとおりです。私たちもふりかえりましょう。もっと美しい自分になろう！もっと優しい自分になろう！それが大切です。

最後に平成27年度人権のめあて！

一　温かく思いやりのある言葉を使おう
二　困っている友達がいたらやさしく声をかけよう。
三　友達、先生、地域の人に明るく元気なあいさつをしよう。
四

四つめは、クラスで考えて書き加えます。

久玉っ子、がんばります！

人権ってなんか難しいことじゃないです。

一言で言うなら、人権は愛です。自分の周りを愛でいっぱいにすることです。家庭も愛でいっぱいにしてください。

下の写真は人権集会の話の聴き方です。話の聴き方上手だと思いませんか？

いつも集会はこうなんです。子どもたちがんばっています。そして先生たちが、子どもたちをしっかり支えています。

大団円

～校長室より～

あなたを信じます

～人権集会時の講話から～

はなしょうぶ
黒い土に根を張り
どぶ水を吸って
なぜきれいにさけるのだろう
私はなぜみにくいことばかり
するのだろう
（星野富弘）

自然の美しさと人間の弱さを対比させた詩です。

私たちは、ときに人をうらやみ、ねたむ心が生じ、からかいやいたずら、いじわるなどの言動が見られることがあります。これらの言動を総称して「いじめ」と言われます。この言動は、いっときの心の快楽を与えますが、その後にはチクチクと心が痛み、後味の悪さだけが残ります。

この言動の根底にあるのは、自分自身に自信が持てないことの証しであろうと思います。

事故のために若くして教師の道を閉ざされた星野富弘さんは、入院中のベッドの上で筆を口にくわえて絵を描き始めます。自分の境遇を嘆くばかりでなく、前向きな生き方に切り替え、小さな幸せに生きがいを見いだします。強い、強い心ですね。

自分の幸せを次のような詩に表しています。

誰がほめようと
誰がけなそうと
どうでもよいのです
畑から帰ってきた母が
できあがった私の絵を見て
「へえっ」とひと声
驚いてくれたら
それでもう
十分なのです

久玉っ子一人一人が、いっときの心の快楽に支配されることなく、『強い心』ではね返し、『正しい』言動がとれるように育てたいものです。そして、小さな喜び・小さな幸せを数多く味わってほしいと願っています。

（『あなたを信じます』は、花しょうぶの花言葉です。）

今日は本田校長先生が教員になって１３２１６日目
そして、平成２８年３月３１日は１３５１３日目

食育週間

今週は、食育週間でもありました。

折しも、五年生は調理実習、六年生は育てた芋の収穫でした。五年生は食べ物に感謝して、六年生は、お手伝いをしてくださった地域の皆様に感謝して、自分が生きる意味を考えて欲しいです。

先だってひかり学級でも収穫した芋で調理実習を行いました！

だれの言葉でしょう？

きみとぼくは
ちがうのに
きみとぼくは
ちがうのに
きっと心の
どこかが
おんなじ
なんだね

人権週間でしたので、それに絡んでの言葉です。

いいでしょう？

これは歌の歌詞です。作ったのは彗星のごとく現れて10年間に多くの名曲を世に残した「トラや帽子店」というバンドです。中川ひろたか、福尾野歩、増田裕子の三人組です。新沢としひこ、ケロポンズも同じ仲間です。子ども向けのいい歌をたくさん作りました。

あんまりいい歌が多いので、ミュージシャンがカバーしたりしています。遊助は「にじ」という曲をカバーしています。

有名な曲は「はじめの一歩」「にじ」「きみとぼくのララランド」「世界中の子どもたちが」など。

（答えはこの通信の左下です）

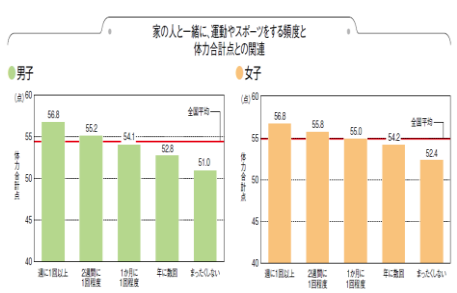
中学生の行動に心ほっこり

いいシーンを見ました。

休日、運動場で遊んでいた中学生が、使った運動場のトンボがけをしているシーンです。心がほっこりしました。

なるほど・ザ・家庭教育

H22全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（文部科学省HPより引用）



休日に、久玉小の運動場では、親子でスポーツをする姿をよく見かけます。

今、私がこの紙面を作成しているこのときも運動場では親子で運動をする姿があります。これって実はとてもいいことなんです。

「親子の絆」はもちろんですが、技能の向上にもいいのです。特に低学年での親子運動はあとで大きな成果となって表れます。

（裏面へ続く）

ホームページならカラーで見ることができます！
ＵＲＬは、　http://es.higo.ed.jp/kutamaes/